

【EU】原発の安全性見直しの動き

海外立法情報調査室・矢部 明宏

* EUは、域内に多くの原発を抱えている。3月11日の東日本大震災発生後、EUは、域内の原発の包括的な安全性の評価(ストレステスト)を各加盟国に要請して実施することを決定した。EUでは、原子力発電の選択は各加盟国に委ねられており、原発の安全性確保におけるEUの役割も限定的である。今後は、今回の事故を契機に、EUがより積極的な役割を果たすための制度構築に向けての議論が高まることが予想される。

EUにおける原子力発電及びその安全に関する規制の状況

現在、EU加盟27か国のうち14か国が原子炉を保有し、EU域内に、計143基の原子炉が存在する。福島第1原発と同じ沸騰水型の軽水炉は、欧州で使用されている原子炉の1割程度を占める。現在、原子力発電は、EUの電力総生産の約3分の1、エネルギー消費全体の15%を占める。EUは原子力発電について、安定した供給が可能で気候変動にも対処しうる重要なエネルギー源とみているが、原子力発電を選択するかどうかは、基本的に各加盟国に委ねられている。

EUでは、欧州原子力共同体(EURATOM)設立条約に基づき、国際原子力機関(IAEA)の下で策定された国際的な条約にEURATOMが機関として加盟し、IAEAとの連携のもとに原子力の安全性確保を図っている。原子力の安全性に関してEUレベルで制定された法令としては、「原子力施設の原子力の安全性確保のための欧州共同体枠組みを制定する2009年6月25日の理事会指令(2009/71/EURATOM)」がある。この指令は、各加盟国に対し、原子力施設の安全性確保のための法的枠組みの構築、原子力推進、電力事業関係者などの外圧から独立した規制機関の設立等を義務付けている。(注1)

また、使用済核燃料及び放射性廃棄物の管理に関して、欧州委員会は、2010年11月、「使用済燃料及び放射性廃棄物の管理に関する理事会指令」の提案(COM/2010/618/FINAL)を行った。この指令案は、各加盟国に対し、使用済核燃料や放射性廃棄物に法的規制と組織的枠組みを整備することを求める内容であり、現在、決定のため理事会に送付されている(審議No. 2010/0306/NLE)。(注2)

原発の安全性の見直しの動き—欧州委員会、理事会、欧州理事会

福島第1原発の事故を受けて、今回の事故の状況及び同様の事故が起こった場合のEUの準備態勢について検討するため、欧州委員会のエッティンガー・エネルギー担当委員が呼びかけ、2011年3月15日にブリュッセルで、欧州委員会、各加盟国の原子力安全機関の代表及びエネルギー関係閣僚、原子力関係企業間の調整会議が開催された。続いて3月21日に、エネルギー関係理事会が開催され、欧州委員会が各加盟国と

協力して原発の安全性を評価するストレステストの準備を行うことが合意された。

3月24日から25日にかけて開催された2011年春季の欧州理事会においても、原子力の安全性が重要なテーマとなった。会議の結論文書の中で、各国首脳は、深い哀悼と日本国民及び政府への連帯並びに日本を引き続き支援する意思を表明した。原発事故については、事故から教訓を十分引き出すとともに、すべての情報を国民に提供する必要性を強調し、エネルギーの分野は、各加盟国に権限があることに留意した上で、概ね次の作業が優先的に進められるよう求めた。

- ・包括的かつ透明性のある安全性の評価（ストレステスト）に基づき、EUにおけるすべての原発の安全性を見直す。日本の事故から学ぶ教訓に照らし、すべての加盟国が参加し、活用が可能な専門家（特に、西欧原子力規制者会議（注3）から）を十分用いて、調整された枠組みで、ストレステストの範囲及び方法を速やかに策定するよう欧州原子力安全規制者グループ（ENSREG）（注4）及び欧州委員会に要請する。安全性の見直しを、加盟国の独立した機関が行い、専門家が評価する。見直しの結果及びその後取られる対策は、欧州委員会及びENSREGにおいて共有され、一般に公開する。欧州理事会は、欧州委員会からの報告に基づき、2011年末までに、最初の結論の評価を行う。
- ・原発の安全性の確保を優先することは、当然ながら、EU域内に止めることはできない。EUは、既存及び計画中の原発について、隣接する諸国及び全世界で類似の「ストレステスト」が行われることを求める。この点に関しては、関係の国際機関を十分活用すべきである。
- ・原子力の安全性の最高水準がEUにおいて確保され、常に改善され、国際的に奨励されるべきである。
- ・欧州委員会は、原子力施設の安全性に関する既存の法的及び規制枠組みを見直し、2011年末までに必要な改善について提案を行う。各加盟国は、確実に原子力施設の安全性に関する指令を完全に実施するべきである。使用済燃料及び放射性廃棄物に関する指令案は、速やかに採択されるべきである。近隣諸国において原子力の安全性をいかに促進するかについて検討するよう欧州委員会に要請する。

欧州議会における審議

4月6日、欧州議会の本会議において、「日本における事故を注視し、欧州における原子力安全のために引き出される教訓」というテーマでの審議が行われた。欧州委員会のエッティンガー委員から、現在作成中のストレステストの基準は、5月末までに欧州議会に提出され、一般にも公開されるとの説明があった。議員間では、概ねストレステストを行う必要性については合意されたものの、いくつかの政党グループの議員から、欧州委員会の提案したストレステストの不十分さを指摘する次のような意見があった。EUが最高の安全基準を設定し、原発がテストに合格しない場合は廃炉にすべきである。このストレステストでは不十分であるので、強制力をもつものにして、独立した専門家により行うべきである。テスト実施の責任を負う各加盟国の機関は仲良

シクラブのようなものなので、ストレステストの結果は疑わしいものになるであろう、等である。しかし、一方では、日本の古い原子炉とヨーロッパの新しい原子炉とでは地震への危険性が全く異なるので、状況をよく分析する必要があり、原子炉を停止させるような性急な行動をすべきではない、等の意見もあった。

翌日の4月7日には、この問題に関する決議の採択が予定されていた。決議案には、日本の責任ある機関、東京電力等に対し、正確な情報を適時に提供することを求めるとともに、ストレステストで否定的な結果が出た場合、原発を即時に停止することを含む対応がなされるべきであること、また、EURATOM条約を改正してEUの権限の強化を図ること等を求める内容が含まれていた。しかし、議員間には、上記のような様々な立場の相違があった結果、決議案は否決された。

今後の見通し

現在の法的枠組みの下では、EUにおける原子力施設の安全性を維持する責任は基本的には各加盟国が負っており、EUの役割は限定的である。このため、今回合意のあったストレステストも、あくまで各加盟国が自発的に行うことを前提とするものであるが、原発の安全性の議論の高まりに鑑み、各加盟国ともストレステストの実施を拒否することはできないとみられている。また、欧州議会における審議にみられるように、今回の事故を教訓に、一層の透明性を確保しつつ、原子力の安全性を実効的に確保することが改めて求められており、EUがより積極的な役割を果たすための制度構築への議論がさらに高まることが予想される。

注(インターネット情報はすべて2011年4月20日現在である。)

(1)植月 献二「原子力と安全性－EU 枠組み指令:その背景と意味」『外国の立法』242号, 2009.12, pp.3-43. <<http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/legis/242/024201.pdf>>,

植月 献二「EUにおける原子力の利用と安全性」『外国の立法』244号, 2010.6, p.39-55.参照。

<<http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/legis/pdf/024405.pdf>>

(2)植月 献二「【EU】高レベル廃棄物最終処理に関する指令の提案」『外国の立法』246-1号, 2011.1, p.25.参照。<<http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/legis/pdf/02460110.pdf>>

(3)西欧17か国の原子力規制機関の代表により構成される非政府機関

(4)原子力安全及び廃棄物管理に関し、欧州委員会の決定で設置された独立の専門家グループ

参考文献

・“EUROPEAN COUNCIL 24/25 MARCH 2011 CONCLUSIONS,” *Press Release Rapid*, D/11/3, 2 March 2011.

<<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=DOC/11/3&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=e>>

・“Nuclear energy debate: EU plants should undergo stress tests; MEPs reject resolution,”

<<http://www.europarl.europa.eu/en/headlines/content/20110324FCS16438/11/html/Nuclear-energy-debate-EU-plants-should-undergo-stress-tests>>